

水没事故 81 周年 犠牲者追悼集会開催



第 1 部 追悼式 (追悼ひろば)

2023.2.4

← QR コード読み込みで、YouTube で観れます！



3 年ぶりに韓国よりご遺族が参加されました。楊玄会長挨拶(上)、チェサをする遺族たち(下)



オープニングは、ご遺族でもある、ハルナユさんの歌声始まりました。長生炭鉱の悲劇を歌った「カジマヨ」を生演奏してくださいました。

来賓挨拶



林始興駐広島大韓民国総領事



徐鶴奎韓国民団山口県本部団長(左)、在日本朝鮮総聯合会山口県本部委員長李秀福(右)



若者メッセージ

생애서만나요

こんにちは。私たちは韓国の富川という都市から来た青少年です。今日の追悼集会に参加する機会が与えられたことに感謝します。ここを訪問して長生炭鉱で犠牲になった韓国人の方々と日本人の方々の歴史的事実を心に刻むことになりました。これらの事実を忘れません。一日も早くみんな明るい土地で会いたいです。ありがとうございます。

シン・ミンギユ

안녕하세요. 우리는 한국의 부천이라는 도시에서 온 청소년입니다. 오늘 추도집회에 참여하는 기회가 주어짐에 감사드립니다. 이곳에 방문하여 장생탄광에서 희생되신 한국인분들과 일본인분들의 역사적 사실을 마음이 새기게 되었습니다. 이 사실들을 잊지 않겠습니다. 하루 빨리 모두 밝은 땅에서 만나고 싶습니다. 감사합니다.

신민규

※B I Y P 関連記事 (8P) に日本側若者メッセージ掲載

刻む会 たより

NO. 88

2023 年 3 月 21 日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・佐々木明美

事務局 宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) Tel 0836(21)8003
カンパ振込先 ゆうちよ銀行 □座番号 01590・7・32405
年会費 《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円
名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会
ホームページ <https://www.chouseitankou.com>
メール chouseitankou@gmail.com



第2部 遺骨収集と返還に向けての市民交流集会（ヒストリア宇部）

QRコード読み込みで、YouTubeで観れます！ →



長生炭鉱水没事故 81周年犠牲者追悼集会 第2部 遺骨収集と返還に向けての市民交流集会 2023.2.4

大韓民国遺族会会長
楊玄（ヤン・ヒョン）

内岡貞雄顧問

井上洋子共同代表

高良鉄美参議院議員

大韓民国遺族会事務局長 孫鳳秀（ソン・ボンス）

内岡貞雄顧問の司会により、韓国・遺族会会長楊玄（ヤン・ヒョン）氏及び事務局長孫鳳秀（ソン・ボンス）氏からの発言を受け、井上洋子共同代表の基調提案を元に、参加者との意見交換を中心に開催されました。

今回、国会議員として初めて参加された高良鉄美参議院議員より遺骨問題に関するご意見をいただき、また昨年の追悼集会でパネリストとして参加された上田慶司さんからも発言を受け、遺骨問題を取り巻く状況について議論を深めました。

また、会場では、パネル展示も行い、参加者に長生炭鉱についての認識を深めていただきました。



韓国遺族会からの発言

大韓民国遺族会会長
楊玄（ヤン・ヒョン）

追悼式が終わり、お疲れのところにもかかわらず、このようにお集まりくださいます。お会いできたことをうれしく思っています。私は水没事故犠牲者・楊王守（ヤン・イムス）の甥であり、韓国遺族会会長の楊玄（ヤン・ヒョン）と申します。

私の叔父は平凡な家庭の二男として何の不由もなく暮らしていたのですが、その当時警察署の巡査と日本から来ていた募集を斡旋していた人にだまされて強制動員され、20歳の若い年で犠牲になりました。何とも痛ましくやしいことです。

遺骨発掘、返還という言葉は私たち遺族たちにとって、いつも胸に刻んでいるものであり、その言葉をきいただけでも胸が張り裂けるようであり、とても期待できるものではありません。

海底水没事故、遺骨発掘作業はたくさんの方の経費、人力と高度の技術が必要な事業であり、発掘作業を日本政府が施行しようが、日韓の政府が合意して行おうが、それ以外の市民団体もしくは宗教団体が合同で行うこともできませんが、この発掘事業は、当然、加害者の立場である日本政府が誠心誠意の謝罪と共に行わなければならないと思います。

具体的に海底坑道の所々に散在している可能性のある遺骸の位置を把握するために最先端の



科学的探査が必要であり、また、海水面の利用に
対し、政府の許可、隣接の土地利用に対する土地
所有者の土地使用承諾可否などたくさんの問題
を処理しなければならぬと思います。まずは全
般的な探査発掘の前に、遺骸があるだろうと思わ
れるところ、すなわちピーヤ周辺の坑道、そして
地上からの坑口周辺を先に発掘調査をした方が
いいと思います。

簡単に私の考えを話させていただきました。ま
た皆様の意見などを聞かせていただければと思
っております。ありがとうございます。

大韓民国遺族会事務局長
孫鳳秀（ソン・ボンス）



私は犠牲者の孫の孫鳳秀（ソン・ボンス）と申
します。日本語があまり上手ではありませんが、
日本語で発言させていただきたいと思えます。

まずは、犠牲者の追悼にご協力して下さい
る、「刻む会」と宇部市民の皆様そして良心的な
日本国民の皆様方に心よりの感謝申し上げます。

2021年長崎市平和公園に「日中友好平和
不戦の碑」が建てられました。これは植民地時代
に端島、高島、先戸（さきご）の三か所の炭鉱に
中国から845人が強制徴用と過酷な労働を強
要され、そのうち94人が亡くなりました。長崎市
と炭鉱主の三菱マテリアルが合同で中国人労働
者に対し、責任を認め、痛切な反省と深い謝罪、
哀悼の意を表明するとともに強制徴用された8
45名の名前が刻まれた碑は中国人が強制徴用

された端島からも遠くないところに建てられて
います。

しかし、長生炭鉱はどうでしょうか。

朝鮮総督府統計年報によれば、植民地時代に朝
鮮人7,827,000人が強制徴用されました。
このような数は、その当時朝鮮の人口の30%に
も及び壮大な数でした。働けるほとんどの人が強
制徴用されたともいえると思います。その中でも
数千名が宇部市の炭鉱に強制的に配置され、19
42年2月3日、長生炭鉱で136人の朝鮮人が
犠牲となりました。

遺族会と「刻む会」は1992年から31年間、
宇部市と山口県に発掘などの追悼事業に対して
議論してきましたし、2019年には内閣総理大
臣宛に建議書も提出しましたが、政府は勿論、山
口県からも宇部市からも何も答えはありません
でした。長崎市とはあまりにも差があります。

これからは言葉ではなく行動で示す時です。
遺骨発掘をするためには坑口を探し、その場所
を掘らなければならぬのですが、土地が一番の
問題になってきています。長生炭鉱の所有者は頼
尊氏だと聞いています。当然頼尊氏が責任を認め
謝罪もしなければならぬし、遺骨発掘にも先頭
に立つべきです。

しかし、今まで一度もそのようなことはありま
せんでした。三菱マテリアルが中国人強制徴用者
に対して責任を認め謝罪し現金で補償したよう
に、頼尊氏も人として同じように責任をとらなけ
ればならないと思います。

私は今日ここにお集まりの皆様の前で頼尊氏
に提案をしたいと思えます。今からでも頼尊氏

は遺骨発掘ができるようにピーヤの前の海岸沿
いの全ての土地を使用できるように、土地使用を
書面で許可していただきたい！

土地を使用できなければ坑口を探すことも遺
骨を発掘することも根本的に不可能です。土地の
使用を許可してもらえないとしたら、遺族会にそ
の土地を売ってください！土地を買ってでも犠
牲者たちの遺骨を発掘させてみせます！

山口県、宇部市も土地の使用、土地の売買に積
極的にご協力お願いします！長崎市は官民が合
同で戦後補償を解決しているのに山口県と宇部
市はなぜやらないのか問いただしてみたいです。

この場にお集まりの皆様！
皆さんの父親が異国の地へ連れていかれ、強制
労働をさせられ海底に水葬されたとしたらどう
しますか？

私たちの願いは、小さくて簡単なものです。父
親が使っていたものを探したいし、父親を海底か
ら引き揚げ、遺骨だけでも故郷へ連れて帰りたい
それだけなのですが、私たちの力だけでは不可能
です。これまで81年が過ぎましたが、これからど
れだけ待たなければならぬのでしょうか？

宇部市の悲しい歴史が、一日も早く癒され、海
辺をさまよう霊魂が苦痛もなく静かに休むこと
ができるように、皆さま方のご協

力が切実に求められています！
皆様にはできると思えます！
良心があり、行動できる日本人
にはかならずできます！！

私たちは皆様を信じています！
ありがとうございます。



会場からの発言

高良鉄美参議院議員の発言（抜粋）

最初に、81年前、ここ長生炭鉱内で亡くなられた方々に哀悼の意を表します。光が届かず、暗い海の中で、春夏秋冬を80回以上も繰り返し、今なお、日の光を求めていらっしやるご遺骨の一人お一人の思いが、まだ漂っているのを強く感じずにはいられません。また、犠牲者の切なる望みを汲んで、追悼碑を日の当たる場所に建立された、ご遺族の方々、関係者の思いは、いかばかりかと思えます。あらためて、ご遺族、関係者の方々のご努力、ご尽力に敬意を表したいと思えます。



植民地支配下で、朝鮮半島出身者の犠牲者が大半を占める長生炭鉱は、全国でも最も危険な作業を伴う場所の一つでした。法律的には未必の故意にあたる。炭鉱に押し込められたような過酷な労働条件の中で、水没事故に対し、国は責任を持って遺骨収集に努め、犠牲者が真に安眠できるようにする必要があります。国会議員として取り組まなければならないとひしひしと感じています。西光寺に行き、位牌の中に5名の沖繩出身者もおられたと知り、本当に全国的に取り組まなければならない問題だと思いました。

（沖繩の問題についての説明）

昨年の秋の国会から外交防衛委員会に所属し、朝鮮半島出身者を含む遺骨のDNA鑑定や、南部地区遺骨混じり土砂の埋め立て工事使用問題について、外務大臣防衛大臣に質問をしています。たとえば、昨年11月15日の外交防衛委員会では、「戦没者の中には日本兵として戦った韓国、朝鮮、台湾出身者の方がおられ、遺族からもDNA鑑定に参加したいという要望が出されている。」「植民地支配によって韓国国民に多大な損害と苦痛を与えたという歴史の事実を謙虚に受け止めていると表明してきた政府は、一日も早く遺骨を返還すべきです。」と積極的な取組を求めました。厚労省側は「鑑定体制の強化に取り組むなど、政府部内で適切な対応を検討してまいりたい」と答えました

が、「遺族の高齢化もあるので、本当にスピード感を持ってやるよう」強く求めました。

憲法で一番大切な、個人の尊厳、人間の尊厳のために戦争をしない、差別抑圧をしない、独善的な圧政をしないのが大切。亡くなった方の人権も保障されるべきです。

最後に、長生炭鉱追悼式における沖繩からの連帯と協力をお誓い申し上げ、ご挨拶いたします。

上田慶司さん（戦没者遺骨を家族の元へ連絡会）の発言（抜粋）

会の出発点は韓国のご遺族の遺骨を韓国に還そう。それをやろうとすると日本兵の事や沖繩のこともやらないということ、どっどっど広がっているいろいろなことをやっている。

昨年ここで発言し、国会議員を回れといって、実際に今年、井上さんが3回回り、自分も同行した。その成果として、今日高良議員が参加している。一年間の成果。高良議員はきつと国会でこの問題を政府に追及する。

私たちは、この間2回政府交渉をした。今日韓で問題になっている1つは謝罪の問題。韓国政府から謝罪を要求され、日本政府はしないとは言わないけれど悩んでいる。11年前に祐天寺にある軍人・軍属の遺骨を返還する時に日本政府は謝罪をしている。今問題になっているのは、DNA鑑定した遺骨を韓国に還すときに、ただ還すのか植民地時代の反省を述べて還すのかもめていいる。この11年間の間にいろいろなことがあって、謝罪ができるかどうか言えないと言っている遺族にそのことを伝え、どうするか尋ねたところ、謝罪をするのはあたりまえだと、そこは譲ってはならないと言われた。

今朝から会長さんと話をして、遺骨の返還はしなければならぬ、もう一つの課題は日本政府の謝罪であるということを確認に言っておられた。遊びに行っただけではない。私は、日本人として、何としてでもやらなければならないと思っている。



81周年追悼集会収支計算表

収 入			支 出		
科目	実績	備考	科目	実績	備考
一般会計繰入金	572,859		会場費	158,062	オンライン含
総領事館支援金	157,695		遺族交通宿泊食費	391,580	6名
			遺族接待費	36,000	懇親会6名
			その他交通宿泊費	48,340	
			事務費	33,350	資料印刷他
			広報費	33,169	チラシ印刷
			雑費	30,053	
合 計	730,554		合 計	730,554	

フィールドワーク等報告

コロナ感染症の影響で少なくなっていたフィールドワークの申し込みですが、徐々に増えてきています。今回は、前号発刊後寄せられた「NPO 法人ひかり」（11月23日開催。広島より訪問）の感想文と、「1923 関東朝鮮人大虐殺を記憶する行動」主催で、81周年犠牲者追悼集会参加ツアーと東京都台東区のReadin Writin Book Storeにて事前学習会が開催（オンラインでライブ配信）され、それぞれに参加した方の感想文を掲載します。



強制連行の歴史に学ぶ

NPO法人ひかり

11月23日(水)、山口県宇部市の東部、瀬戸内海に面した床波海岸。小雨の中22名の参加で、旧長生炭鉱のフィールドワークを行った。「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の共同代表である井上洋子さんからお話を伺った。

墓標のように海面から突き出た2本のピーヤ（排気・排水筒）。その海底に長生炭鉱があった。1942年2月3日朝、海底の炭鉱で水没事故(水非常)が起き、183人の労働者が亡くなった。そのうちの136人が朝鮮人労働者である。この事故は、翌日の新聞に小さく取り上げられただけだ。

海上の船のエンジン音が聞こえる程の、法律違反の浅い層を発掘したため、海水が流入した人災事故だった。度々出水していた危険なこの炭坑への就労を地元の人はさせていた。この炭鉱の労働者のうち80%は朝鮮人労働者である。労働力不足を補うため強制連行された朝鮮人労働者たち。犠牲者は今も冷たく暗い海底の坑道に沈んだままだ。

2013年2月、市民の募金で念願の追悼碑が建立された。しかし、追悼集会に出席した韓国遺族会の方の「遺骨を持ち帰るまで終われない」という思いに、「刻む会」は運動の再出発をした。現在も国や議員に遺骨収集を要望している。史実継承の重要性を痛感した研修だった。

長生炭鉱「遺骨発掘・返還」を日韓政府の共同事業に（長生炭鉱水没事故から80年、アボツは今も海の底）

山本利明

筆者は「刻む会」の個人会員であるが、これまで事故の内容について活字情報を通じて知ってはきたが、本格的な講演を聞くのは初めてであった。講師は当団体の共同代表である井上洋子氏。主催団体は、「1923年の関東大震災での朝鮮人大虐殺を記憶する行動」で、台東区浅草に近い書店での対面での場とネットでの配信もあった。書店での参加者は20名で配信での受講者も合わせれば100名近いとのことであった。

講演は、事故の概要から始まって「刻む会」の結成から追悼碑建立、遺骨収集・返還運動の歴史と現状について、詳しい資料によって解説するものであった。

改めて感じたのであるが、長生炭鉱事故の規模の大きさとそれに関わっていた朝鮮人の数の多さであった。183人の犠牲者のうち朝鮮半島出身者136名だったという事実は日本の植民地支配の冷酷さを示している。

事故発生を報じる新聞記事のいい加減さもさることながら、追加の報道が一切なされなかったことは、当時の官憲や政府



が社会的反響の大きさを恐れて報道規制したことは容易に想像できる。

それはさておき、事故の詳細は、生存者の証言や記録をもとに、井上氏から生々しく語られた。そもそも事故は起こるべきして発生した「人災事故」であり、それを生き延びたこと自体が奇跡的なことであったことが判る。さらに当時の炭鉱の外の住宅や施設の状況説明があったが、朝鮮半島出身者にとっては、劣悪・苛酷な強制労働を強いられる労働監獄であり嚴重な監視のもとでほとんど全員が逃亡を考えていたという。実際、脱獄に成功したものの、官憲や監視係のリンチにあつて死亡した者もいた。

こうした説明は活字で読むよりも、話で聞いた方がリアルで迫力がある。「講釈師見て来たような嘘を言う」というたこえがあるが、井上代表の話力はそれに近いものがあつた。長年、この案件に関わつて来られた重みと熱意がそれを支えているのだと思う。

「刻む会」の運動の歴史は本紙の読者には既知のことであるが、2013年の追悼碑建立の式典の際に、韓国人遺族から発せられた「あなた方日本人は、これで運動も一段落したと思つてゐるのではないか。我々は遺骨を収集し持つて帰りたいのだ」と糾弾されたことが、この運動を再出発させる大きな契機になつたという。それ以降は、「遺骨収集・返還」をこの市民運動の主目標に据えて、韓国政府も巻き込んで日本政府や自治体との交渉に注力していることを説明。

また、講演の終盤では、日韓の若い世代に長生炭鉱の悲劇を共通の歴史認識として培つて欲しいとの願いも込めて、高校生が作成したビデオが紹介された。

そして結びとして、日本人としての私の決意として「遺骨は骨にすぎない。しかし、私たちは無念の死の果てに骨となつたその遺骨を暗闇から掘り出し、光をあて、その遺骨に肉を付け、服を着せ、魂を引き寄せて、犠牲者の尊厳を復活させなければならぬ」との理念が訴えられた。ブレゼンは80分弱であつたが、長生炭鉱水没事故の発生から説き起こし、刻む会の運動の直近の状況まで過不足なく、かつ熱い想いに溢れた講演内容は、参加者の胸に深く刻まれたことと感じた。



会場は本屋さん。オンライン配信とリアル参加者のために、1階は書棚を移動して会場づくりをし、参加者は1階とロフトのような2階で参加しました。とても斬新なスタイルだと思いました。(感想：山内弘恵)

フィールドワークに参加して

崔泰順

今回、私は【1923記憶する行動】メンバーと同行し、念願のフィールドワークに参加させて頂き、翌日には、81周年の追悼集会に参加いたしました。

81年前の水没事故の事も知ってはいましたが、また、ピーヤにも祈り花を捧げた事もありましたが、フィールドワークは初めてでした。

実際にその場の1箇所1箇所を歩いて、感じて、想像してみながら、井上代表さんの説明を全身全霊で聞かせていただきました。最後にピーヤに到着した時に、砂浜を踏むことさえ、本当に申し訳なく、1日も早くこの底にある遺骨を発掘したいという願いが今まで思っていた以上に、込み上げてきました。

そして、遺族の方を探す事からはじめ、慰霊碑建立、発掘の実現に向けて、遺族の方と腹を割つて話し合いながら、どんな時も遺族の方たちの思いにとことん耳と心を傾けて来られた「刻む会」の皆様のご尽力に敬意と心から感謝を感じました。

フィールドワークの次の日に参加した追悼集会で、犠牲者183人のお名前がひとりひとり呼ばれるときに、毎年とは違う思いが込み上げて来ました。私は在日コリアンなのでやはり今までは、朝鮮半島出身犠牲者136人の方々に思いを寄せていましたが、今回フィールドワークで学んだ中に：日本人犠牲者42人の中には責任を持つて自らまた入つて行った人など聞いた事を知りました。そしてやはり、強制連行により連れて来

られた朝鮮半島出身者の方々がどれだけのお悪環境、差別の中で人間扱いもされず働かされていたのか、事故の前にリンチや病気で亡くなられた人もいた話、犠牲者の中には双子の方もいらっしゃったし、宇部市内の中でも強制連行により連れてこられた若い人もいた、また、事故後の補償のひどさなど…

前日歩いて色々教えて頂いた事たちが浮かび、涙が止まりませんでした。

私たちが在日コリアンは植民地支配時から今もなお、戦後補償はもちろん無く、日本政府から排除はされ続けても「対等な人」と認められた経験もなく、いつも「あなたたちが変わらなさいよ」と言われているような構造の中にいる気がします。

今も朝鮮学校だけ排除されている現実、いつも問題は朝鮮人にあると見ていた、植民地支配からまだ抜け出せていないのかと思わされます。炭鉱事故が遺したもの、そのような現在も感じる悲しみ怒り苦しみも合わさり、また、涙が止まりませんでした。

海の底に眠っている遺骨収集実現、この事を広められて、証言資料集作などにも全力を尽くしていらっしやる「刻む会」の皆様にもう一度感謝して、私も力を合わせていきたいと改めて思いました。

※今回はお忙しい中フィールドワークもして頂き本当にありがとうございます。



© 1923記憶する行動 一般社団法人東アジアピースアクション

活動日誌 (前回たより以降) 太字は記事掲載

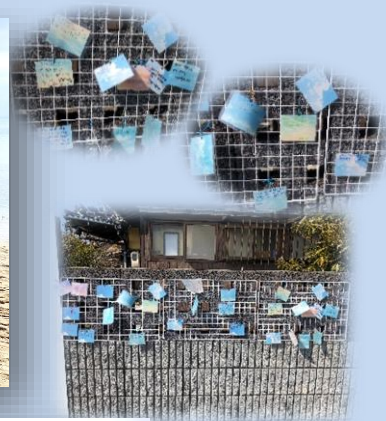
- 12/20(火) 『たよりのNo.87』 発送作業
- 1/11(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 1/15(日) B-I-Y-P日韓青少年交流説明会(山口市・阿知須)
- 1/17(火) 1923関東朝鮮人大虐殺を記憶する行動オンライン学習会(東京都・Web)
- 1/17/18(火/水) 第4回国会議員訪問(東京都)
- 1/18(水) 「戦没者の遺骨を家族の元へ連絡会」政府交渉(東京)
- 1/20(金) 第10回運営委員会・中断
- 1/22(日) 第10回運営委員会・再開(web)
- 2/3(金) 追悼集会前日準備
- 韓国・遺族出迎え(福岡)
- 1923関東朝鮮人大虐殺を記憶する行動FW
- 2/4(土) 81周年犠牲者追悼集会
- 2/4/5(土/日) B-I-Y-P日韓青少年交流
- 2/5(日) 韓国・遺族見送り(福岡)
- 2/8(水) 朝鮮学校支援全国行動月間行動参加(下関市)
- 2/17(金) 第11回運営委員会
- 2/18/19(土/日) 切手まつり(防府市)
- 3/8(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 3/17(金) 第12回運営委員会

韓国富川(プチョン)青少年とのいきいき交流計画 (2013年開始)

BIYPの活動 報告と予定 2023.3

BUCHEON IKKI-IKKI-ASIA YOUTH EXCHANGE PROGRAM (SINCE 2013)

3年ぶりに日韓青少年交流が実現！コロナ感染症の影響で2020年5月に受け入れ予定を断念してからの約3年間、オンライン交流会などで交流を継続しつつ、この時を待っていました！今回は、韓国側スタッフの希望で、長生炭鉱の追悼集会の日程に合わせて来日、日韓の子ども達と一緒に追悼集会に参加し、若者アピールを行いました。また、当日カードに書いたメッセージを追悼ひろばに吊るし、海岸では献花、183体のロウソクでの祈りも行いました。



若者メッセージ

私がこの事実を知った時、胸が張り裂けるほど心が痛みました。危険な炭鉱での作業。遺骨発掘が未だなされてないということ。悲しい気持ちでいっぱいです。

私は中学、高校と韓国に関わる活動を行ってきました。中学生の時韓国にホームステイをしました。その際に韓国との国際関係に興味を持ち、日本と韓国の歴史教育にスポットを当てるようになりました。そして、高校生の時に地元山口県宇部市の長生炭鉱の歴史を知り、その歴史と関わる会に参加しました。私がこの長生炭鉱から気付かされたことは日本人の加害者意識の低さと歴史をただ一面的に学ぶのではなく多面的に考えるべきなのではないか、という歴史教育の真の姿です。

私たちは時代の流れや単語を覚え、テストでいい点を取ることが「歴史教育」だと勘違いしている人が多い現状です。しかし、本当に大切なのは、その歴史を疑ってみたり、その歴史の資料を読み解き別の読み取り方を考えてみたり、その歴史を様々な国の視点から考えてみたり、それら個人個人の考えを自分で表現することです。私はそれこそが真の歴史教育であると考えようになりました。それゆえ、地域の歴史にフォーカスしながら1つの歴史に対する見方を増やすことができれば、知的創造力向上も期待できると考えました。

ならば、その考え方を得るためのきっかけを私達に与えてくれるものは何か、それが長生炭鉱だと思いました。長生炭鉱から歴史を遡ってみるとまた違った歴史観を体験することが出来ます。私はその感覚が衝撃的でしたし、先ほど申し上げました、加害者意識が湧き上がることにも繋がりました。あくまで個人的な考えですが、それが長生炭鉱が私たちに与えてくれるものだと思います。

私はこの経験から、長生を広めるための動画を作成するなどアクションを起こしてきました。それゆえ、大学では地域の遺産や歴史から新たな日本の歴史教育を考え、偏見や差別のない平和な世界を創るためにどうすればいいかを研究していきたいと思いました。

長生はそんなことを与えてくれた大切な場所です。平和のために、私たちはこの歴史を語り継いでいかなければならないと思います。

日本側若者代表 永藤諄

今回の交流では宿泊を鑄銭司の長沢温泉、交流場所は阿知須の町としました。



宿泊場所での交流



阿知須の街歩き



浴衣着てみました～



地元の方の協力で、「ひなもん」作り挑戦！



今回の交流には、参加した中学生だけでなく、高校生大学生大人のボランティアスタッフが多数協力してくださいました。そして、子ども達にとってはもちろん、スタッフにとっても充実した2日間でした。
次は、5月に韓国で交流予定です！

第1回 韓日青年交流協会「アキオシ」の青少年とよいきき交流活動 SINCE 2013

韓国への中学生交流

参加者募集 フェリー利用

申込期間：2023年 5月3日～7日 (4泊5日/船2泊3日)

項目	募集(予定)	(備考)
5/3水	下関乗船会 夕方17:00 行 石田港 船内でのミーティング	フェリー利用
5/4木	朝 早川温泉 新幹線駅までアクトへ 昼 ソウル屋 ブチオンへ 歓迎会	青少年参加隊
5/5金	交流活動 (一緒にスポーツや文化活動) ソウルの市内、アクト市内(船内)	青少年参加隊
5/6土	交流活動 (おかわり会) 早川温泉アクトへ 送迎 船内でのミーティング	フェリー利用
5/7日	下関乗船 船内でのミーティング	

申込受付期間：5月3日(日) 締切：5月5日(火)

申込料：1000円(送料別)

申込方法：申込書・写真・履歴書・面接カードを提出してください。

申込先：BIYP (財) 韓日青年交流協会

〒745-8001 山口県下関市下関3-1-1

TEL: 083-923-1100 FAX: 083-923-1101

HP: www.biyp.or.jp

E-mail: biyp@biyp.or.jp

第 14 回草の根交流紹介 & 使用済み切手まつり

2月18～19日（土～日）、防府のアスパラートにて開催されました。
今年も「刻む会」よりパネル展示を行いました。
たくさんの方が集まるイベントではないですが…
小さな種をまくように、チラホラと来てパネルを見て下さいます。



BIYP 日韓青少年交流の様子の
パネル展示もありました。



朝鮮学校を支援する山口県ネットワークも内
岡貞雄顧問が作成したパネル展示をしました。

※このイベントは、当初 JOCS（日本キリスト教海外医療協力会）の 10 年間の補助事業からスタートしましたが、補助がなくなってからも同様に使用済み切手を集めて JOCS へ送ることを中心にしなが、草の根交流の場として開催されています。「刻む会」も 2016 年からパネル展示等をしなが協力しています。

運営委員を募集しています！

「刻む会」が遺骨収集を掲げ、新たな組織として出発してから次の総会で 10 年を迎えます。小さな小さな市民団体ですが、今、日本政府や韓国政府とも交渉をするほどに活動が広がってきました。運営委員は現在 10 名ですが、今後、NPO 法人化などを見据えた時に、もっと活動の幅を広げるためにも運営委員の増員が求められています。私たちと一緒に長生炭鉱問題を解決する活動をしませんか？会議は、web 参加も可能！全国どこからでも参加できます。また、運営委員会にはご希望があればどなたでも陪席で参加可能です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。（なお、運営委員への正式就任は総会での承認が必要です。）

第 10 回定期総会は、下記の日程で開催します。
詳細及び議案書は正会員宛に 5 月に入ってからお送りします。
日時：2023 年 5 月 20 日（土）13:30～

会計報告 (2022/12/1~2023/2/28)

【一般会計】

(円)

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	81,000	556,000	92.7%	
2	寄付金	925,000	413,690	736,673	79.6%	※
3	物販	30,000	25,900	29,500	98.3%	
	証言・資料集	25,000	25,900	27,800	111.2%	
	その他	5,000	0	1,700	34.0%	
4	雑収入	4,000	0	3,740	93.5%	
5	前期繰越金	127,138	0	127,138	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,686,138	520,590	1,453,051	86.2%	

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳出					
1	事務費	40,000	14,674	34,505	86.3%	
2	広報費	425,000	79,857	233,557	55.0%	会報誌送料・印刷他
3	会議費	66,000	0	19,430	29.4%	
4	追悼碑管理費	10,000	2,256	10,073	100.7%	電気代他
5	活動費	900,000	738,115	897,086	99.7%	
	学習会等	100,000	0	31,095	31.1%	
	追悼集会	600,000	572,859	572,859	95.5%	
	その他活動	200,000	165,256	293,132	146.6%	国会議員訪問
6	他団体会費等	50,000	10,000	18,000	36.0%	
7	雑支出	20,000	2,346	4,501	22.5%	
	手数料	10,000	2,346	4,336	43.4%	郵便局
	その他	10,000	0	165	1.7%	
8	予備費	75,138		0	0.0%	
	小計	1,586,138	847,248	1,217,152	76.7%	
9	繰越金	100,000	(326,658)	235,899	235.9%	
	合計	1,686,138	520,590	1,453,051	86.2%	

※寄付者 (敬称略)

赤間 至 麻野 他 泉 哲 今 関 力 ネ 子 岩 本 乾 治 内 岡 貞 雄 内 山 賢 次
 亀 世 大 黒 春 江 谷 大 靖 夫 大 場 ヤ ス 子 合 紀 久 子 加 藤 神 谷 丹 路
 小林 英 雄 河 本 泰 治 姜 泰 玉 杵 淵 智 子 國 重 淳 子 熊 野 古 城 美 保 子
 鈴木 晃 昇 小 林 昇 齊 藤 美 代 子 坂 眞 子 下 野 田 中 嶋 一 浩 一 花 子 杉 川 理 恵
 崔 忠 実 関 谷 陽 子 徐 根 植 孫 成 姫 伶 奈 郁 美 田 中 萩 子 富 美 子 玉 木 節 彦
 浜田 光明 寺 本 知 行 東 村 實 柳 野 有 子 福 田 山 根 努 福 田 富 美 子 藤 井 潔
 藤井 晃 暢 原 よ し え 松 岡 節 子 柳 野 有 子 福 田 山 根 努 福 田 富 美 子 藤 井 潔
 利元 克己 在 日 大 韓 基 督 教 会 宇 部 支 部 在 日 大 韓 基 督 教 会 宇 部 支 部 在 日 大 韓 基 督 教 会 宇 部 支 部
 在日本大韓国民団 山口県宇部支部 在日本大韓国民団 山口県宇部支部 在日本大韓国民団 山口県宇部支部
 在日本大韓国民団 広島県広島支部 在日本朝鮮民主女性同盟 山口県本部
 大韓民国教育部下 閣韓国教育院 在日本朝鮮人 総連合会 宇部小野田支部
 日本基督教団 小郡教会 日本基督教団 防府教会 NPO 法人 ひかり
 無窮花堂 友好親善の会 その他 匿名 15 件

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,218,889				
			繰越金	1,218,889	
合計	1,218,889		合計	1,218,889	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,577,040				
繰入金	0		繰越金	1,577,040	
合計	1,577,040		合計	1,577,040	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

待望の第4集発刊!

「刻む会」発刊
証言資料集 全4冊

絶賛！好評発売中！
頒布価格 1冊 300円
2冊セットで 500円
3冊セットで 700円



まだお持ちでない方！
ぜひお買い求め下さい！



新刊

日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書

新刊

5冊セットで頒布
送料・翻訳基金カンパをお願いします

4冊セット 3000円（送料込）



- ・「朝鮮女子勤労挺身隊」労務動員の調査
- ・太平洋事件の調査
- ・北海道東川町江卸発電所強制動員被害真相調査
- ・タンコ（炭鉱）だって？
- ・強制動員名簿解題集2



- ・報告書「朝鮮人 BC 級戦犯に対する真相調査—捕虜監視員の動員と戦犯処罰の実態を中心に—」
- ・報告書「ハワイ捕虜収容所における韓人捕虜に関する調査」+韓国語の「太平洋戦争実記集」（沖縄の阿嘉島への動員、特設水上勤務 103 中隊）
- ・口述記録集「朝鮮という私たちの国があったのだ」（大阪造兵廠、群馬中島飛行機、沼津軍属、佐世保、呉、東京陸軍被服廠、捕虜監視員など軍属として日本、東南アジア、中国への動員）
- ・口述記録集「ポンポン船に乗って海の幽霊になるところだったよ」（忠清道から福岡、長崎、佐賀など九州への動員）

ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

今後の予定

- 2023年3月26日(日) 13:30~
立命館大学教員他（4名）FW
- 2023年4月11日(火) 10:30~13:00
第1回運営委員会
- 2023年5月20日(土) 13:30~
第10回定期総会 ※詳細は後日正会員へ送付
- 2023年5月26日(金)
愛知人権啓発企業連絡会（25名程度）FW

《同封物》
振替用紙

事務局より 会員動静 (2023年2月17日現在)

正会員	135名 (総会比+2名)
賛助会員	288名 (総会比+9名)
寄付者	118名 (総会比+6名)
計	541名 (総会比+17名)

会員・寄付者募集中！知人・友人にぜひ一声お願いします！